

石綿作業主任者技能講習

講習日時 令和2年12月3日(木)、4日(金) 9:20~

受講資格要件 なし

申込期間 11月19日(木)締切

講習時間(修了試験含む) 11時間

受講料 8,000円

テキスト代 2,900円(会員外は協力金3,000円必要)

※各コース人数の少ない場合は中止になります。

※CPD CPDSの申請が可能です。



■実施場所およびお問合せ 中紀技能訓練協会(中紀地域職業訓練センター内) 日高郡日高町荊木310 ☎63-1500

フルハーネス型安全帯使用作業 特別教育(6時間)

講習日時 令和2年12月1日(火)~

講習場所 和歌山県建設会館3F会議室

講習時間 10:00~17:00

受講料 8,670円(テキスト代を含む)

申込方法 申込書に受講料を添えて持参、または現金書留で郵送

申込期間 令和2年11月2日(月)から、定員になり次第締切り

詳しくは、下記までお問合せください。



■お問合せ 建設業労働災害防止協会 和歌山県支部 ☎073-436-1327 FAX 073-426-3987

事業主のみなさまへ 労働保険に入っていますか?

正社員、パート、アルバイトなど、雇用形態にかかわらず、一人でも労働者を雇っている場合、事業主は労働保険に加入する義務があり、その手続きが必要です。

詳しくは、下記までご相談ください。



■お問合せ 和歌山労働局労働保険徴収室 ☎073-488-1102 / 御坊労働基準監督署 ☎22-3571 / ハローワーク御坊 ☎22-3527

防災通信

まなぼう災!



~11月5日は「津波防災の日」~

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で甚大な津波被害を出したことから、津波の教訓を伝え津波対策を総合的かつ効果的に推進するため、11月5日を「津波防災の日」と定められました。

これは、嘉永7年(1854年)11月5日の安政南海地震(M8.4)で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人々を高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんだ日です。

「緊急地震速報」

「緊急地震速報」は、最大震度5弱以上の揺れが予想されるときに、震度4以上の揺れが予想される地域に対して発表されます。気象庁からの発表を受けて直ちに町に設置している防災行政無線や、テレビ・ラジオのほか、携帯電話の「緊急速報メール」などで伝えられます。

緊急地震速報を見聞きしたときは

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。

● 屋内にいるとき

- 家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外に飛び出さない。
- 料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない。
- 扉を開けて避難路を確保する。



● 屋外にいるとき

- ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。
- ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。

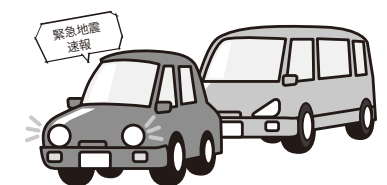


● 山やがけの付近にいるとき

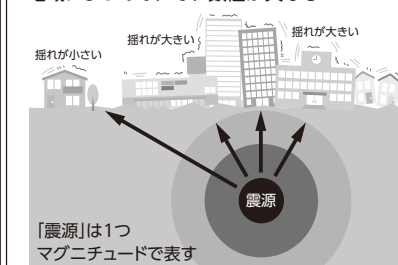
- 落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。

● 自動車運転中

- 後続の運転手が緊急地震速報を聞いているとは限らないため、自動車運転中は、あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす。
- ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する。



震度は場所によって異なるため、地域によってそれぞれ数値が異なる



マグニチュードと震度の違いは?

「マグニチュード」とは、地震そのものの大きさ(規模)を表します。マグニチュードは1大きくなると地震のエネルギーは約32倍となり、2大きくなると1,000倍になります。マグニチュードの値が大きくても、震源地から離れている場合は地震による影響をほとんど受けません。

「震度」とは、地震が起きたときの私たちが生活している場所での揺れの大きさを表します。日本では気象庁が10階級(0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7)に分けたものが使われています。地震による揺れが強くなると、震度は大きくなります。

■お問合せ 防災センター ☎24-9280